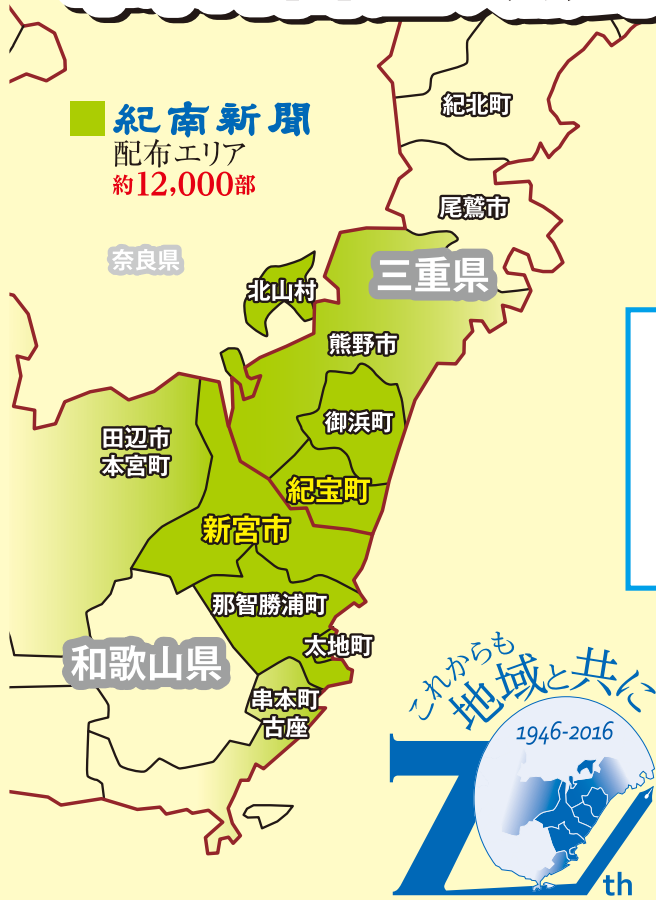


新宮市(和歌山県)・紀宝町(三重県)を中心に 串本町古座、熊野市、田辺市本宮町まで



紀南新聞
配布エリア
約12,000部

発行部数
12,000部

【発行部数内訳】

- 新宮市(約8,000部)
- 東牟婁郡[那智勝浦町~串本町古座](約800部)
- 三重県[紀宝町~熊野市](約2,800部)
- 田辺市本宮町(約250部) ■郵送(約150部)

※2016年4月現在

当社は昭和21年1月創業、同年4月1日創刊の地方新聞社です。今年で創刊70周年を迎えました。配布エリアは、和歌山県新宮市、三重県南牟婁郡紀宝町を中心に、和歌山県東牟婁郡串本町から三重県熊野市、和歌山県田辺市本宮町で、日刊紙約12,000部をブランケット版サイズ10ページで発行している。

他にも、不定期で地元の遊び情報紙「ゼロスト」を発行している。

地域の慶弔情報やイベント情報をいち早く提供することで、長年、地域の信頼を得ている新聞社です。

身近な情報から郷土づくりの提言まで

紀南新聞社

(本社所在地)
〒647-0043 和歌山県新宮市緑ヶ丘2-1-33

【編集部】TEL0735-22-2803 FAX0735-23-1873

【営業部】TEL0735-22-2553 FAX0735-23-0032

(勝浦支社)
〒649-5335 和歌山県東牟婁郡那智勝浦町築地7丁目3番11



紀南新聞の歴史

終戦の痛手からようやく立ちなおりにかけた昭和21年1月29日、戦時中休刊していた伊勢新聞紀南版を改題、紀南新聞を組織し、新宮市駅前本通りに社屋を新築。同年4月1日に紀南新聞第1号を発刊。言論の自由は得たものの物資統制下にあつて、新聞用紙は極度に制限されていたが、陸の孤島という特殊条件から新聞用紙割当委員会から用紙の割当を受け、新宮市一円、三重県南牟婁郡、和歌山県、東牟婁郡、奈良県吉野郡に読者層を獲得してのスタート。

以来、地域の皆さまの支えをお借りして、主に紀南地方のニュースを日刊でお届けしています。